

とうきょうすくわくプログラム テーマ「オリンピック」

品川区立伊藤保育園

＜設定理由＞

年長児を中心にパリオリンピックについて子どもたちの間でも話題になりました。その中で、「パリってフランスなんだね」という子どもの言葉をきっかけに、子どもたちが興味のある国やその文化について調べたり体験することで、子どもたちの興味や関心がさらに広がっていくのではないか、と考えました。



＜対象年齢＞
5歳児（たいよう組）

＜活動事例＞
①世界を知ろう
②パントマイムをみよう
③たべもののパスポートを作ろう

事例① 「世界を知る」

○新聞記事や写真を切り抜いて

「いろんなスポーツやってた」
「バレー！ママたちがやってる」
「クライミングが好きだよ」
「いろんなひとがいるんだね」
「肌の色、目の色が違うね」

いろいろなスポーツをやっていたこと、また、世界の人々の“肌の色”“髪の色”“目の色”が違うことにも気が付きました。



＜保育者の振り返りと気付き＞
*国旗の気付きが子どもならではだと思った
*1部の子が取り組む中で、活動に参加していなくても部屋に掲示していたり、他児が取り組んでいる様子を側で見たりしていたことで、“見て参加”したり興味が広がったりしてよかったです

＜ねらい＞

オリンピックを通して、世界には様々な国があることを知る

＜環境＞

- ・室内の目につきやすい位置に国旗と世界地図を掲示
- ・新聞紙や広告等、オリンピック関係の資料を用意し、掲示板に自由に貼れるように設定



事例② 「パントマイム鑑賞」



「かおがおもしろかった」
「ピエロって本当にいるんだな
と思った」
「テクニックがすごいと思った」



パントマイムは、言葉を使
わない万国共通の表現方法
と知りました



<ねらい>

パントマイムの起源が古代ローマということで、
言葉を使わない万国共通の表現の仕方を知る

<環境>

- 事前にパントマイムの起源 オリンピックと同じ
古代ローマ発祥ということを知らせた

ピエロは日本の言葉とい
うことを知っていた子が
いました！

<保育者の振り返りと
気付き>

- 事前に興味を持てるよ
うに話しをしていたこと
で、興味を持って参加で
きよかったです
- パントマイムがギリ
シャ発祥と知り、驚く子
の多さに驚き、それほど
興味を持っていたことを
感じた

事例③ 「たべもののパスポート」

<ねらい>

給食のメニューから世界の料理を知り、世界旅行ごっこを楽しむ

<環境>

- ・たべもののパスポート作成
- ・パスポートや航空券、搭乗ゲート等、世界旅行ごっこに必要な材料を用意



「航空券でタッチすると飛行機に乗れるんだね」「インドに行ってインド料理が食べたいな」

<保育者の振り返りと気付き>

- *事前に世界旅行ごっここの話題を出していたことで、パスポートや航空券の使い方、飛行機の乗り方等、よく理解しながら遊べよかったです
- *飛行機に乗って○○に行きたいと期待を寄せる姿が多く見られ、今後も継続して遊びたいと思った

飛行機に乗れば、世界のどんな国にも行けること、外国人にも会えることを知りました



外国に行くには長い時間飛行機に乗るため、機内食が食べられることを知りました